

そしてSDGsへの取り組み

2022年10月27日

国連加盟の193カ国において掲げる Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」を理解し、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際社会共通の17の目標の中から、従来当社ISO14001の活動において推進してきた環境への取り組みはSDGs12番「つくる責任、つかう責任」と捉え、更に継続、強化させ、加えてSDGs13番「気候変動に具体的な対策を」に積極的に取り組むことにより、日本国が掲げた2030年に温室効果ガス排出量を2013年比で46%削減、2050年までにカーボンニュートラルの実現へ当社としても貢献すべく以下の取り組みを行います。



13 「気候変動に具体的な対策を」

2001年より取り組んできた環境への取り組み、省エネ活動等は継続、徹底、強化させつつ、新たな取り組みとして、製品のバイオプラスチック化へのチャレンジを開始し、更なるCO2排出量の削減貢献を試みます。



7 「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」

当社は部品メーカーとして、再生可能エネルギー（太陽光、風力、バイオマス発電等）の開発メーカー様のニーズに適切にお応えし、部品の生産と供給を担うことを通じてSDGsに貢献します。



9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」

当社は創業以来63年に及ぶ部品メーカーとしての社業を通して交通インフラ、通信インフラ、産業インフラの構築に地道に、そして誠実に責任を果たして参りました。その姿勢は変わることなく、常に時代の新しいニーズにお応えして参ります。



12 「つくる責任 つかう責任」

従来通り、製品や生産工程において適正な化学物質及び廃棄物管理を行い、人の健康や環境への影響を最小化する努力を日々怠りません。

また、限りある天然資源の保全のために、節電・省エネ・廃棄物削減等の努力を継続するとともに、石油由来の材料から植物由来のバイオプラスチックに代替する製品開発にも挑戦して参ります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

昭和2年、北陸生まれの当社創業者は「無駄」が大嫌いでした。当社には創業時より各職場にて「無駄の排除」の精神が宿っています。この創業来の精神をもってSDGsに貢献して参ります。

品川商工株式会社

2代目代表取締役社長 中村利恵

